

令和4年度事業報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

1 はじめに

当協会は、平成元年4月に社団法人として発足し、平成23年6月からは公益法人制度改革により公益社団法人として再スタートし、平成29年4月に名称を現在の神奈川県産業資源循環協会に改称し、産業廃棄物の適正処理及び資源化の推進に関する諸事業を通じ、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図るとともに資源循環を推進し、県民福祉の向上及び循環型社会づくりの促進に寄与している。

2 産業廃棄物処理業の状況

新型コロナウイルス感染症による規制や世界的なエネルギー価格高騰等が続く中、公益社団法人全国産業資源循環連合会（全産連）「産業廃棄物処理業景況動向調査報告書」によると、2022年4～6月期の売上高及び処理量の前年同期比は増となったが、その後3期続けて減となった。令和4年度における経営上の問題点では、「従業員の不足」「修理、修繕費等の増加」の回答割合が高く、その他の記述回答では5期続けて「燃料費の高騰」を懸念する声が多く寄せられた。

3 行政の取組み

国においては、炭素中立（カーボンニュートラル）、循環経済（サーキュラーエコノミー）、自然再興（ネイチャーポジティブ）の同時達成に向けた取組を進めており、昨年9月には2050年カーボンニュートラルの達成も見据え、目指すべき循環経済の方向性と2030年までの施策の方向性を示す「循環経済工程表」を策定し、循環型経済への移行に取組んでいる。また、昨年4月の「プラスチック資源循環促進法」を施行し、製品設計からプラスチック廃棄物の処理までのライフサイクル全般であらゆる主体による資源循環の取組を促進している。

神奈川県においては、「神奈川県循環型社会づくり計画」に基づき「資源循環の推進」「適正処理の推進」「災害廃棄物対策」を施策の柱として、安心安全な適正処理を前提に、循環型社会形成への取組が進められている。また、プラスチック資源循環の促進に向けて、本年3月に「神奈川県プラスチック資源循環推進等計画」を策定した。

4 協会の取組み

令和4年度は新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置等の新たな発令はなかったが、感染者は7波、8波と拡大し、今年1月をピークに減少傾向が続いている。

こうした中、当協会は、業界を取り巻く社会環境等を踏まえ、循環型社会づくりにおける重要な役割と地位を担い、適正処理と資源循環の更なる推進に向け、コンプライアンスの徹底、人材育成の推進、労働災害の防止、地球温暖化対策、災害廃棄物処理の支援などの事業を行政や関係団体と連携・協力して取組んできたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためやむを得ず見送った事業もあり、Webを活用する等工夫しながら実施した。

また、県が実施する新型コロナウイルス感染症宿泊療養施設対策や特定家畜伝染病発生時に係る防疫措置に向けた体制整備に積極的に協力するとともに、協会の価値向上と財政健全化に向けた検討を行った。

公益目的事業

1 産業廃棄物の適正処理のための法的事項、安全衛生等の普及啓発及び情報提供等による普及啓発

(1) 法定事項の遵守、コンプライアンス等の向上及び不法投棄・不適正処理の防止の普及啓発並びに調査研究に基づく普及啓発

ア 法定事項の遵守、コンプライアンスの向上の普及啓発

(ア) マニフェスト等の普及啓発事業

産業廃棄物の処理に係る法定事項である委託契約書、マニフェスト(産業廃棄物管理票)、帳簿を遵守・徹底し、適正処理のコンプライアンスを向上・徹底するため、委託契約書、マニフェスト等を頒布(547,500セット)しました。

また、マニフェスト制度紹介資料「産業廃棄物管理票(マニフェスト制度)について」をホームページに掲載し、制度の正しい理解と適正運用を促進しました。

(イ) 産業廃棄物処理業者基本台帳整備・許可期限通知事業

産業廃棄物処理業の更新時の混乱による無許可営業を防止するため、更新期限の通知を行いました。(年2回実施)

通知文発送日	許可期限日範囲	発送件数
R4. 7. 1	R4. 11. 1~R5. 6. 30	82社
R5. 3. 13	R5. 6. 1~R6. 1. 31	128社

(ウ) 許可講習会等の実施協力事業

産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請者、処理業務従事者、実務者に対する講習会や検定試験の実施に協力し、法定の資格遵守を普及啓発しました。

a 許可講習会の試験〔(公財)日本産業廃棄物処理振興センター実施〕

講習会名・講習内容	開催日	受講者数	会場		
新規 許可講習会	収集・運搬課程	R4. 6. 22AM R4. 6. 23PM R4. 7. 27AM R4. 8. 24AM R4. 9. 21AM R4. 10. 27AM R4. 11. 9AM R5. 2. 16AM R5. 2. 17PM	68名 67名 67名 62名 55名 64名 60名 62名 67名	かながわ労働プラザ (横浜市)	
	処分課程(収集・運搬課程と合同)	R4. 8. 25AM R4. 12. 8AM	42名 41名		
	特別管理産業廃棄物収集運搬課程	R5. 1. 26AM	67名		
	更新 許可講習会	収集・運搬課程 (特別管理産業廃棄物収集運搬課程)	R4. 5. 25AM R4. 5. 26AM R4. 6. 22PM R4. 7. 28AM R4. 8. 24PM R4. 8. 25PM R4. 8. 26AM R4. 9. 21PM R4. 9. 22AM R4. 10. 27PM R4. 11. 9PM		73名 73名 75名 64名 64名 68名 67名 66名 66名 68名 69名

		R4. 11. 10AM R4. 12. 9AM R5. 1. 26PM R5. 1. 27AM	35名 69名 67名 73名	かながわ労働プラザ (横浜市)
	処分課程(収集・運搬課程と合同)	R4. 6. 23AM R5. 2. 17AM	48名 49名	
特別管理産業廃棄物管理責任者講習会		R4. 5. 25PM R4. 5. 26PM R4. 7. 27PM R4. 7. 28PM R4. 8. 26PM R4. 9. 22PM R4. 10. 28AM R4. 11. 10AM R4. 12. 8PM R4. 12. 9PM R5. 1. 27PM R5. 2. 16PM	70名 73名 66名 66名 67名 71名 71名 66名 72名 67名 72名 75名	

b 検定試験 [(公社) 全国産業資源循環連合会実施]

検定試験名・内容	開催日	受験者数	会場
産業廃棄物処理検定 (廃棄物処理法基礎)	R5. 2. 19	144名	かながわ労働プラザ (横浜市)

(エ) 排出事業者・行政との懇談会等の事業

事業者と行政及び処理業界との懇談会・懇話会の開催

会議名	開催日	内容、場所等	出席者数
神奈川県労働局との情報交換会 産業廃棄物業界の労働災害防止について (安全衛生協議会)	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため 実施見送り	—
県央地区行政との勉強会	R4. 5. 13	・プラスチックに係る資源循環の推進等の 法令改正の概要について ・災害廃棄物、家畜伝染病発生時における 行政の役割について (プロミティ厚木)	19名
湘南・県西地区行政との勉強会	R4. 8. 30	・特定家畜伝染病発生時の対応について ・相模原市で発生した豚熱の概要について ～レンダリングの作業を中心に～ (県小田原合同庁舎)	37名
廃棄物対策協議会との懇話会 (湘南・県西地区委員会)	R5. 2. 17	・廃棄物の排出事業者責任及びプラスチック 資源循環促進法 ・カーボンニュートラルに向けた県の取 組について (平塚商工会議所 大ホール)	70名

イ 不法投棄・不適正処理の防止の普及啓発

産業廃棄物の不法投棄・不適正処理の発生を未然に防ぐため、神奈川県、市町村等が行う廃棄物不法投棄防止・撲滅キャンペーン事業や不法投棄物の撤去作業に参加して、不法投棄・不適正処理の防止を普及啓発するとともに、会員の優良事業所や優良従業員を表彰し、コンプライアンスの向上を推進しました。

(ア) 不法投棄防止等キャンペーン参加

委員会名	実施日	地域	実施場所	主催・実施主体	事業内容
横浜地区委員会	R4. 10. 2	横浜市	山下公園、象の鼻パーク等	小さな親切運動神奈川県本部	山下公園、象の鼻パーク等 一帯の清掃活動(750人参加) 会員23名参加
県央地区委員会	R4. 9. 4	座間市	市内全域	県央地域廃棄物対策推進協議会	不法投棄撲滅キャンペーン 新型コロナウイルス感染拡大防止のため参加者制限により不参加
	R4. 10.	相模原市	相模原市立名倉グラウンド	津久井地域不法投棄防止協議会	不法投棄撲滅キャンペーン 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	R4. 11. 14	厚木市	市内全域	県央地域廃棄物対策推進協議会	不法投棄防止合同パトロール 地区会員3名参加
	R4. 11. 17	座間市	市内全域		不法投棄防止合同パトロール 地区会員2名参加
湘南・県西地区委員会	R4. 5. 29	藤沢市内	鶴沼海岸ほか	藤沢市・かながわ海岸美化財団	第46回ゴミゼロクリーンキャンペーン～ビーチクリンナップかながわ～ 地区会員94名参加 (全体3,897名)
	R4. 7. 8	平塚市内	湘南ひらつか七夕まつり会場	平塚商工会議所青年部&平塚青年会議所	クリーンボランティア参加 地区会員11名参加
	R4. 10. 14	秦野市内	森戸地区(堀水路)北地区農免道路	秦野地区不法投棄防止キャンペーン事業実行委員会	美化キャンペーン及び不法投棄物撤去作業 悪天候のため自治体のみで実施
	R5. 2. 10	秦野市内	蓑毛地区	秦野地区不法投棄防止キャンペーン事業実行委員会	不法投棄物撤去作業 悪天候のため実施日延期し、自治体のみで実施
			「山梨県・静岡県・神奈川県合同富士箱根伊豆地域不法投棄防止連絡協議会」の不法投棄防止一斉パトロールは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催されませんでした。		

(イ) 適正処理顕彰事業

a 叙勲

区分	受章者	叙勲時期
旭日単光章	大塩 正文氏 (前副会長)	R4. 11. 3

b 協会表彰

区 分	被表彰者	表彰時期・場所
功労者表彰	7名	R4. 6.15 令和4年度定時社員総会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため各賞代表者 による表彰式
優良事業所表彰	12社	
優良従業員表彰	39名	

c 公益社団法人全国産業資源循環連合会表彰

区 分	被表彰者	表彰時期・場所
功労者表彰	1名	R4. 6.17 (令和4年度より表彰式は執り行われない)
地方功労者表彰	6名	
優良事業所表彰	1社	
地方優良事業所表彰	8社	
優良従事者表彰	10名	

d 循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰

区 分	被表彰者	表彰時期・場所
産業廃棄物関係事業功 労者表彰	2名	R4. 11.24 新型コロナウイルス感染拡大防止のため 全国大会・表彰式中止 (R4. 12.14 協会会長から伝達)

e 神奈川県県民功労者表彰(神奈川県知事表彰)

区 分	被表彰者	表彰時期・場所
生活環境	1名	R4 6.15 神奈川県庁

f 神奈川県環境整備功労者表彰(神奈川県知事表彰)

区 分	被表彰者	表彰時期・場所
環境整備功労者表彰	4名	R4. 11.16 神奈川県庁

g 神奈川県環境保全功労者表彰(環境農政局長表彰)

区 分	被表彰者	表彰時期・場所
環境保全功労者表彰	9名	R4. 7.25 新型コロナウイルス感染拡大防止のため表彰式中止

ウ 調査研究に基づく普及啓発

産業廃棄物の適正処理における課題に関する調査研究を行い、制度改善等が望まれる事項について、関係機関等に提言を行い、その内容を機関誌「さーきゅれーしょん第19号」に掲載し公表しました。

令和4年度予算及び施策等の提言

提 言 先	提 出 日
自由民主党(神奈川県支部連合会、神奈川県議会議員団)	R4. 6.10
公明党(神奈川県本部、神奈川県議団)	R4. 6.30
神奈川県知事	R4. 7.20
横浜市長、川崎市長、相模原市長、横須賀市長	R4. 7.27

(2) 資料・情報の収集・提供、広報による普及啓発

産業廃棄物の処理及び資源循環に関する情報を収集・提供し、産業廃棄物の適正処理・資源化について普及啓発しました。

ア 法令・行政情報等の収集・提供

法令、行政情報、会員情報、災害廃棄物情報に加え新型コロナウイルス関連情報等を収集し、情報提供等の基礎資料とするとともに、関連する資料を提供しました。

(ア) 情報収集及び提供事業

行政や関係団体からの各種通知、案内等の情報を、随時会員等に通知するとともに、事務局内に配架等しました。

- ・会員等への行政情報やセミナー案内等の提供：月2回情報セット送付
- ・ホームページ掲載による公表：月2回更新（上旬、下旬）

イ ネット媒体を利用した情報提供

協会のホームページを見やすく使いやすくするため、主要行事や協会事業の一覧表の掲示、行政や関係団体からの情報提供に努めるとともに、各種講習会の予定等を掲載しました。

また、情報発信の更なる改善を図るため、情報活用部会において検討を行うとともに、フェイスブックやメールマガジンによる情報配信も行いました。

- ・ホームページの運営、メールマガジンの配信：月2回更新（上旬、下旬）
- ・フェイスブックへ委員会開催情報等掲載：随時更新

ウ 機関誌による情報提供・広報

機関誌「さーきゅれーしょん」に、産業廃棄物及び資源循環に係る行政情報をはじめ、法令情報、技術情報、労働災害防止のための安全衛生情報、各行事の実施結果、会員に関する情報などを掲載して発行・配布し、処理業者、排出事業者、行政、県民に適正処理や資源循環の推進に関する協会事業や行政情報、関連情報を広報しました。

(ア) 機関誌「さーきゅれーしょん」発行事業

- ・機関誌「さーきゅれーしょん」年4回作成し、会員・関係機関等に配布及び有償頒布

号数	発行日	特 集	発行部数
第21号	R4. 4. 25	特集 プラスチックの資源循環推進のための講習会	800部
第22号	R4. 7. 25	特集1 食品廃棄物の資源循環推進のための講習会 特集2 令和4年度定時社員総会	800部
第23号	R4. 10. 25	特集 令和5年度予算及び施策に関する提言について	800部
第24号	R5. 1. 25	特集 第12回安全衛生大会	800部

(3) 安全衛生の向上・徹底の普及啓発

適正処理推進の基盤である労働者の安全・安心と経営の安定化に向けて処理業の安全衛生の向上・徹底を普及啓発しました。

また、令和4年度労働災害防止計画を策定し、計画に掲げる目標達成に向けた取組を行い、産業廃棄物処理業の安全衛生水準の向上を図りました。

ア 安全衛生パトロールや安全診断等による普及啓発

職場の安全衛生パトロールを行い、職場の状況・実態に応じた安全衛生方策を協議して課題を解決するなど、処理業者の職場改善を行いました。なお、実施にあたっては、参加者を縮小し新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した方法により実施し、労働安全衛生の専門家が同行して助言、指導等を行いました。

安全衛生パトロール実施状況

種 別	実施日	対 象
安全衛生パトロール	R4. 7. 22	横浜地区委員会主催 地区内事業所(専門家同行)
	R4. 11. 28	川崎地区委員会主催 地区内事業所(専門家同行)
	R4. 10. 14	横須賀地区委員会主催 地区内事業所(専門家同行、労働衛生ミニセミナー開催)
	R4. 12. 2	湘南・県西地区委員会主催 地区内事業所(専門家同行)

イ 安全衛生の情報収集・提供

職場の労働災害防止や安全衛生の向上を図るため、安全衛生大会や講習会等を開催し、労働災害の発生実態や原因、具体的な対策について普及啓発を行いました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から安全衛生大会及び車両管理者等講習会はオンライン開催としました。

また、令和2年度に改訂した「労災防止マニュアル〔第3版〕」を活用しながら、現場で活用できる具体的な対策等を普及啓発しました。

・安全衛生大会 ((独法) 労働者健康安全機構神奈川産業保健総合支援センターと共催)

開催日	参加者数	内 容 等
R4. 10. 19 (オンライン方式)	64名	<ul style="list-style-type: none"> ・労働安全衛生標語の優秀作品発表 (最優秀賞1名、優秀賞3名(うち1名は2作品のため作品は計4作品)) ・講演 <ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物処理業における労働災害発生の現状 (講師：神奈川労働局労働基準部安全課安全専門官) ・産業廃棄物処理業における労災防止マニュアルの使い方 (講師：労働安全コンサルタント 二階堂 久 氏) ・けがだけではない！『忍び寄り健康リスク』に備えるために (講師：神奈川産業保健総合支援センター労働衛生専門職)

・講習会等

開催日	参加者数	内 容 等
R4. 5. 23 (オンラインセミナー)	80名	ドライバーズ及び車両管理者講習会 (安全衛生協議会・収集運搬部会共催) <ul style="list-style-type: none"> ・安全運転管理者制度について (講師：神奈川県警察本部交通部交通総務課安全係交通安全教育隊) ・事業所で行う健康管理と外部機関の活用 (講師：神奈川産業保健総合支援センター産業保健専門職) (神奈川産業保健総合支援センターとの共催により同センターからオンライン配信)
R4. 11. 5	31名	湘南・県西地区労働安全衛生基礎セミナー (湘南・県西地区委員会主催) (講師：労働安全コンサルタント 二階堂 久 氏) (平塚商工会議所会議室)

・労働安全衛生法規則に基づく特別教育

R4. 11. 2	32名	「研削といしの取替え等特別教育」の講習会 (研修委員会主催) (講師：労働安全コンサルタント 二階堂 久 氏) (波止場会館)
R5. 3. 4	24名	湘南・県西地区委員会「研削といしの取替え等の業務に係る特別教育講習会」 (湘南・県西地区委員会主催) (講師：労働安全コンサルタント 二階堂 久 氏) (平塚商工会議所大ホール)

ウ 安全衛生事例等による普及啓発

会員企業の労働災害やヒヤリ・ハット事例の調査を行い、改善策の実施効果等を取りまとめるとともに、日常的な安全衛生活動の実施状況や各社が力を入れている取組内容等を収集し、機関誌「さーきゅれーしょん」に掲載するほか、各社の現場管理方法や作業方法等の見直しや改善など労働安全衛生活動の推進を図りました。

エ 安全衛生優良事業所等の顕彰による普及啓発

安全衛生優良事業所とその担当役員・従業員の顕彰を行い、安全衛生の向上・徹底を普及啓発しました。

令和4年度安全衛生協議会表彰

区 分	表彰対象	表彰時期
安全衛生活動表彰 5年表彰	4社	R4. 6. 15(令和4年度定時社員総会) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため各賞代表による表彰式
安全衛生活動表彰 年度表彰	9社	
安全衛生活動優良役員・従業員表彰	21名	

(4) 全産連等との連携による適正処理の普及啓発

都道府県域を超えて処理される産業廃棄物の適正処理を推進するため、全国の処理業者や関係団体と連携・協力して適正処理を普及啓発しました。

ア 全産連等との連携による適正処理の推進

公益社団法人全国産業資源循環連合会の役員・委員として運営や諸事業に参画し、国等からの指導・助言を受け、情報を収集し、共通課題を協議・調査研究し、課題解決を進めて、適正処理を普及啓発しました。特に、当協会役員等が安全衛生委員会、医療廃棄物部会、建設廃棄物部会再生土木資材分科会に委員として参加し、各事業を推進して適正処理を普及啓発しました。

(ア) 全産連連携普及啓発事業

公益社団法人全国産業資源循環連合会の会議に次のとおり参加等しました。

a 総会

開催日	会場等
R4. 6. 17(第12回定時)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため明治記念会館・web 併合開催

b 理事会

開催日	会場等
R4. 5. 24(第61回)	公益社団法人全国産業資源循環連合会(東京都港区)
R4. 7. 12(第62回)	新型コロナウイルス感染拡大防止のためハイブリッド開催
R4. 10. 12(第63回)	新型コロナウイルス感染拡大防止のためweb開催
R5. 1. 13(第64回)	明治記念館(東京都港区)
R5. 3. 14(第65回)	新型コロナウイルス感染拡大防止のためweb開催

c 全国正会員事務局責任者会議

開催日	会場等
R4. 7. 8	新型コロナウイルス感染拡大防止のためweb開催
R5. 2. 3	新型コロナウイルス感染拡大防止のためweb開催

d 委員会・部会・連絡会

開催日	委員会・部会会場等
R4. 6. 7 R4. 9. 28 R4. 12. 16	安全衛生委員会 新型コロナウイルス感染拡大防止のためWeb会議
R4. 10. 6	医療廃棄物部会運営委員会 新型コロナウイルス感染拡大防止のためWeb会議
R4. 11. 2 R4. 12. 13	建設廃棄物部会 再生土木資材分科会 新型コロナウイルス感染拡大防止のためWeb会議

e 関東地域協議会会長会議及び協議会等

開催日	会 場 等
R4. 4. 22	第 68 回協議会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため Web 会議
R4. 11. 25	第 69 回会長会議・協議会 (古名屋ホテル) (山梨県甲府市)
R4. 4. 7	第 1 回事務責任者会議 新型コロナウイルス感染拡大防止のため Web 会議
R4. 10. 18	第 2 回事務責任者会議 新型コロナウイルス感染拡大防止のため Web 会議
R5. 3. 30	第 3 回事務責任者会議 新型コロナウイルス感染拡大防止のため Web 会議
R5. 3. 6	第 1 回災害廃棄物委員会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため Web 会議

f 青年部協議会

開催日	会 場 等
R4. 6. 16	総会 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため(ハイブリッド開催))
R4. 11. 14	第 12 回カンファレンス (岐阜県高山市)
R5. 1. 25	関東ブロック幹事会、交流促進事業実施 (神奈川県横浜市中区)
R5. 2. 24	関東ブロック賀詞交歓会 (千葉県)

なお、公益社団法人全国産業資源循環連合会等が主催し、環境省等が後援する「産業廃棄物と環境を考える全国大会」については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催が中止されました。

イ 関係団体との連携による適正処理の推進と社会貢献の取組

産業廃棄物の適正処理を推進するため、排出事業者等関係団体の事業への参加や情報交換等を行い、連携して適正処理の推進と社会貢献に取り組みました。

(ア) 連携した関係団体

- ・公益社団法人神奈川県環境保全協議会
- ・一般社団法人東京都産業資源循環協会(一都三県建設混合廃棄物意見交換会、一都二県医療廃棄物合同懇談会)
- ・一般社団法人千葉県産業資源循環協会(一都三県建設混合廃棄物意見交換会)
- ・一般社団法人埼玉県環境産業振興協会(一都三県建設混合廃棄物意見交換会)
- ・公益社団法人静岡県産業廃棄物協会(一都二県医療廃棄物合同懇談会)
- ・公益財団法人かながわ海岸美化財団
- ・一般社団法人神奈川県建設業協会
- ・神奈川県ホームレス協議会
- ・神奈川県医師会(水銀血圧計回収等)
- ・独立行政法人労働者健康安全機構 神奈川産業保健総合支援センター
- ・神奈川県中小企業団体中央会

(イ) 社会貢献の取組

- ・協会表彰及び安全衛生協議会表彰の副賞として海岸美化寄付付きクオカードを活用
- ・各地区委員会による不法投棄防止キャンペーン等へのボランティア参加(再)
- ・ピンクシャツデー2023 in 神奈川 「いじめストップ! ワールドアクション」への後援名義使用承認

(5) 体験学習会等による普及啓発

県民、児童、大学生等に環境を守ることの難しさや産業廃棄物の適正処理と処理業界への認識を深めてもらうため、会員企業において産業廃棄物の排出から処理までの過程を見学・体験を予定しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から見送りとなりました。

- ・横須賀商工会議所主催マイタウンティーチャー 実施見送り

(6) 県受託事業等の推進

循環型社会の形成及び環境保全を図るため、受託事業等推進委員会が県等と連携して産業廃棄物の適正処理の推進及び資源循環の推進に関する調査研究やセミナーの開催、普及啓発などを予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、セミナーの開催方法をオンライン方式とし、産業廃棄物処理施設技術管理者講習会及び産業廃棄物処理業者講習会の受託は見送りとなりました。

- ・ 食品廃棄物の削減に向けた普及啓発等事業
 食品廃棄物のリサイクル促進に係る業務
 食品廃棄物リサイクル施設見学会の実施
 実施日 令和4年10月27日 参加者 38名
 見学施設 ①町田市バイオエネルギーセンター
 ②(株)西東京リサイクルセンター 羽村バイオガス発電所

- ・ 廃プラスチック類等の資源循環の推進に係る普及啓発等事業
 プラスチックの資源循環推進のための講習会開催業務
 オンラインセミナーの開催、セミナーの配信用動画の作成
 開催日 令和5年2月2日 参加者 124名
 開催方式：ライブ配信によるオンライン方式（会場：アットビジネスセンター会議室）
 内容 第1部 プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律について
 （環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室室長補佐 矢野克典氏）
 第2部 川崎市のプラスチック資源循環の取組
 （川崎市環境局生活環境部廃棄物政策担当課長 北川仁氏）
 第3部 資源循環型社会の実現に向けた“ペットボトル水平リサイクル”の推進
 （サントリーホールディングス株式会社サステナビリティ経営推進本部
 資源循環推進グループ課長 光森秀典氏）

2 産業廃棄物の適正処理及び資源循環の推進に関する研修会、講習会等の開催及び後継者等の人材育成

(1) 研修会、講習会等の開催

産業廃棄物処理業者及び排出事業者の適正処理及び資源循環の推進等に関する意識と資質の向上のため及び職場の安全衛生と産業廃棄物処理業界の安全衛生水準の向上のため、法令、知識、技術及び技能に関する研修会、講習会、セミナー及び視察見学会の開催を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から安全確保に留意しながら、実施可能な事業に取組みました。

ア 講習会等開催事業

(ア) 研修委員会 電子マニフェスト操作講習会

開催日	参加者数	場 所	講 習 内 容
			新型コロナウイルス感染拡大防止のため見送り
			初級者向け電子マニフェスト入力方法

(イ) 研修委員会講習会

開催日	参加者数	場 所	講 習 内 容
R4.11. 2	32名	波止場会館	研削といしの取替え等特別教育（再掲）

(ウ) 医療廃棄物適正処理講習会

開催日	参加者数	場 所	講 習 内 容
			新型コロナウイルス感染拡大防止のため見送り

(エ) 建設廃棄物の適正処理講習会

開催日	参加者数	場 所	講 習 内 容
			新型コロナウイルス感染拡大防止のため見送り

(オ) 車両管理者ドライバーズ講習会（再掲）

開催日	参加者数	開催方法・場所	講習内容
R4. 5. 23	80名	オンライン 神奈川県産業保健総合支援センターから	・安全運転管理者制度について ・事業所で行う健康管理と外部機関の活用 (安全衛生協議会・収集運搬部会共催)

(カ) 法令研修会

開催日	参加者数	場 所	研修内容
R5. 1. 31	72名	かながわ労働プラザ	産業廃棄物処理検定試験（全産連主催）の受験者等を対象とした法令研修会

(キ) 県受託産業廃棄物等講習会（再掲）

開催日	参加者数	開催方法等	講習内容
		新型コロナウイルス感染拡大防止のため見送り	・産業廃棄物処理施設技術管理者講習会 ・産業廃棄物処理業者講習会
R5. 2. 2	124名	オンライン	プラスチックの資源循環推進のための講習会 ・プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律について ・川崎市のプラスチック資源循環の取組 ・サントリーホールディングス株式会社の資源循環推進に向けた“ペットボトル水平リサイクルの推進”

イ 地区セミナー・視察見学会

(ア) 地区セミナーの開催

委員会等	開催日	参加者数	会 場	内 容
横浜地区	R4. 12. 5	47名	かながわ労働プラザ	・横浜市からの行政情報 ・地球温暖化防止対策と循環型社会の形成に向けて《産業廃棄物処理業者の担う役割》 ・産業廃棄物処理事業におけるDX技術の活用について
川崎地区	新型コロナウイルス感染拡大防止のため見送り			
横須賀地区	4. 11. 16	13名	ヴェルク横須賀	・プラスチック資源循環法の概要 ・プラスチック資源循環法に対する横須賀市の取り組み
県央地区	R4. 11. 11	38名	厚木アーバンホテル	・令和元年東日本台風を乗り越えて ・特定家畜伝染病発生時の対応について
湘南・県西地区	R4. 8. 30	37名	県小田原合同庁舎	プラスチック資源循環促進法について
	R4. 11. 5	31名	平塚商工会議所	湘南・県西地区労働安全衛生基礎セミナー (再掲) ・処理施設や収集運搬の労働災害事例 ・収集運搬車両の交通安全（道路交通法施行規則の改正） ・最近の安全衛生法改正の動向
	R5. 3. 4	24名	平塚商工会議所	研削といしの取替え等の業務に係る特別教育 (再掲)

(イ) 産業廃棄物処理施設等の施設見学会の開催

委員会等	開催日	参加者数	見学施設
横浜地区委員会	R5. 2. 22	26名	横浜環境保全株式会社 金沢事業所
川崎地区委員会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため見送り		
横須賀地区委員会	R5. 2. 17	36名	株式会社TBM 横須賀工場 プラスチックリサイクルプラント
県央地区委員会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため見送り		
研修委員会	R4. 10. 14	20名	野村興産株式会社 イトムカ鉱業所（北海道）
医療廃棄物部会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため見送り		

(2) 後継者、若手経営者等の養成

産業廃棄物処理業経営者の後継者を養成するため、青年部会の自主企画による産業廃棄物の適正処理のための公益活動を行いました。

・青年部会実施公益目的事業

開催日	参加者	場所等	活動内容
R4. 6. 2	59名	みなとみらい21地区 全域	横浜開港祭 ボランティア活動 ・廃棄物の分別指導を通じ廃棄物適正処理の普及啓発 ・「エコステーション」11箇所設置 回収量：紙ごみ 42kg、事業系一廃 1,600kg、 ビン・カン・PET544kg、廃プラ 22 m ³ 、 汚泥 270kg、PETキャップ 25kg
R4. 11. 4	23名	Web交流会	松原タニシ氏トークイベント
R5. 2. 3	14名	教育研修事業	リモートワーク×サウナ体験研修会

3 産業廃棄物に関する相談対応、指導・助言及び処理業者の紹介

処理業者、排出事業者、県民等からの産業廃棄物処理に関する相談や苦情申し出に対応して適切な処理を指導・助言するとともに、廃棄物の処理を必要とするときは専門の処理業者等を紹介しました。

4 災害廃棄物の処理の支援等

地震等大規模災害発生時における災害廃棄物の処理等については、県との基本協定のほか県内市町村との協定締結を進め、今後の災害時の迅速な対応に向け、行政との意見交換会や訓練等に参加するとともに各地区委員会における地区会員連絡網の点検・確認を行いました。

家畜伝染病防疫業務については、県と締結した「特定家畜伝染病発生時における防疫業務に関する協定書」に基づき、協力要請項目の協議や協会協力体制の検討を行うとともに、県実施訓練等に参加した。

新型コロナウイルス感染症対策については、県の要請により県設置宿泊療養施設における感染性廃棄物の処理に協力しました。

(ア) 災害廃棄物の処理対応

a 地震等大規模災害時における災害廃棄物の処理等に関する協定書の締結状況

・令和4年度協定締結 大和市 (R4. 4. 1)、松田町 (R4. 7. 27)、厚木市 (R4. 10. 3)

・令和3年度までに締結した市町 (24市町)

横浜市、横須賀市、秦野市、葉山町、川崎市、開成町、平塚市、箱根町、相模原市、小田原市、鎌倉市、藤沢市、大磯町、三浦市、綾瀬市、逗子市、座間市、茅ヶ崎市、寒川町、二宮町、南足柄市、中井町、伊勢原市、愛川町 (協定の締結順)

b 訓練等参加状況

- ・令和4年度大規模災害時廃棄物対策関東ブロック協議会 災害廃棄物に関する災害対応力向上研修会（環境省関東地方環境事務所・神奈川県開催）
開催日 R4. 11. 18 [事務局対応]
会場 TKPガーデンシティ横浜 ホールA
内容 座学「災害廃棄物処理の初動対応」、
座学・ワークショップ「災害時の廃棄物に関する住民等への広報」
- ・災害廃棄物仮置き場設置・運用訓練及び意見交換会（横須賀市開催）
実施日 R5. 2. 9 [横須賀地区委員会対応]
場所 実地訓練：夏島グラウンド、意見交換会：リサイクルプラザ「アイクル」
内容 仮置き場の設置や運営、発災時の対応 等

C 連絡網の点検・確認

協会災害廃棄物処理等支援程に基づき、各地区委員会において地区会員連絡網の点検・確認を行いました。

(イ) 家畜伝染病発生時防疫業務対応

a 訓練参加状況

- ・特定家畜伝染病対策防疫演習（豚熱対応）（県実施）
実施日 R4. 10. 13 [県央地区委員会対応]
場所 神奈川県総合防災センター
内容 ①指揮命令系統の確認（指 示・情報共有内容の確認、各担当間の連携確認等）
②防疫資機材訓練（防疫資機材の受入れ、所定場所への移動等）
③体調不良者対応訓練（従事者の保健師等状況確認、従事者の運搬等）
④殺処分訓練（電殺・ガス殺のデモ、模擬豚をフレコンバッグに詰込み等）
⑤レンダリング訓練（レンダリング装置の設置、開封班・梱包班・搬出班等の動きを確認等）
- ・令和4年度高病原性鳥インフルエンザ発生時情報受伝達訓練（県実施）
実施日 R5. 1. 17 [事務局対応]
場所 協会事務局
内容 電話及びメールによる情報受信
- ・相模原市内における死亡野鳥（カラス）の鳥インフルエンザ簡易検査陽性事例に係る緊急防疫会議
実施日 R5. 3. 7 [事務局対応]（ZOOM会議）
内容 ①死亡野鳥（カラス）の鳥インフルエンザ簡易検査陽性事例概要
②県の対応について

(ウ) 新型コロナウイルス感染症対応

県の要請を受け、県設置宿泊療養施設等に係る感染性廃棄物の処理について、医療廃棄物部会が中心となり対応しました。

- | | | | |
|-----------------------|-------|----------------------|-------|
| ・R4. 4. 1～R4. 6. 30 | 12 施設 | ・R4. 7. 1～R4. 7. 11 | 11 施設 |
| ・R4. 7. 12～R4. 8. 23 | 12 施設 | ・R4. 8. 24～R4. 9. 30 | 13 施設 |
| ・R4. 10. 1～R4. 11. 30 | 11 施設 | ・R4. 12. 1～R5. 3. 31 | 10 施設 |

5 専門委員会、地区委員会等の開催

公益目的事業等を円滑に推進するため、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面及び Web 会議等も活用しながら次のとおり各委員会・部会を開催しました。

[専門委員会、地区委員会等の開催状況]

委員会等名	開催日	委員会等名	開催日
企画・財政委員会	5回 R4.5.11、9.7、12.7、 R5.3.8、3.15	横浜地区委員会	4回 R4.4.25、7.19、11.17、 R5.3.23
広報委員会	4回 R4.5.12、8.5、11.4、 R5.2.9	川崎地区委員会	5回 R4.4.4、7.20、9.26、12.7、 R5.3.27
研修委員会	5回 R4.4.14、5.23、7.26、 8.25、10.5	横須賀地区委員会	3回 R4.4.26、10.14、11.16
福利厚生委員会 (表彰審査会)	3回 R4.4.27、10.21、 R5.2.27 (1回 R5.2.17)	県央地区委員会	4回 R4.5.13、7.14、11.11、R5.3.7
建設廃棄物特別 委員会	1回 R5.1.12	湘南・県西地区 委員会	5回 R4.4.22、6.3、8.30、11.1、 R5.2.17
医療廃棄物部会	4回 R4.5.30、7.14、8.9、 R5.2.14	情報活用部会	2回 R4.5.12、11.4
安全衛生協議会	4回 R4.5.12、7.11、8.23、 11.8	収集運搬部会	—
法制度整備委員 会	3回 R4.5.9、11.14、 R5.3.16	青年部会	全体会 1回 R4.4.1 幹事会 12回 R4.4.1、5.6、6.2、 7.1、8.5、9.2、10.7、11.4、12.1、 R5.1.6、2.3、3.3 定例会 5回 R4.6.2、8.5、10.7、 12.1、R5.2.3
受託事業等推進 委員会	6回 R4.4.25、6.1、7.29、 9.28、11.7、R5.1.20	役員選考・推薦 委員会	—
		倫理委員会	—

共益事業

1 会員及び会員の従業員の元気回復、懇親等の福利厚生に関する事業

会員及び会員の従業員の精神的安定、元気回復等のため、ゴルフコンペ等を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を見送りました。

行事名	開催日	会場	参加者数
RCK 会ゴルフコンペ		新型コロナウイルス感染拡大防止のため見送り	
観劇会 (宝塚歌劇)		新型コロナウイルス感染拡大防止のため見送り	
RCK 釣り大会		新型コロナウイルス感染拡大防止のため見送り	
RCK 会ゴルフコンペ		新型コロナウイルス感染拡大防止のため見送り	
賀詞交歓会	R5. 1. 18	ホテルメルパルク横浜	162名

2 会員及び会員の従業員の県外施設見学会に関する事業

会員による先進・模範的な県外施設の視察研修会を行いました。(再)

行事名	開催日	見学先	参加者数
県外施設見学会	R4.10.14	野村興産株式会社 イトムカ鉱業所 (北海道)	20名

3 会員に対する各種資料の配布や情報提供等に関する事業

行政や関係団体からの各種通知、案内等の情報及び新型コロナウイルス関連情報について、通知するとともに、ホームページへの掲載や事務局内に配架等しました。

- ・会員への行政情報等の提供：月2回程度送付（随時）
- ・ホームページへの掲載：月2回更新（上旬、下旬）
- ・フェイスブックへの掲載：随時
- ・メールマガジンによる情報配信
- ・会員専用サイトの運営
- ・許可更新期限の通知

管理事業

1 総会、理事会等の開催

協会運営の基本となる事項を協議・決定するため、定時社員総会、理事会、企画・財政委員会等を開催しました。

(1) 総会開催事業

令和4年度定時社員総会

開催日	場 所	出席者	議 案 等
R4. 6. 15	メルパルク横浜 (横浜市)	出席 65 社 代理人決議 115 社 書面議決 181 社 合計 361 社	【議事】 1 令和3年度事業報告及び令和3年度収支決算報告、令和3年度監査報告 【報告事項】 1 令和4年度事業計画及び令和4年度収支予算 【表彰】 1 協会表彰 2 安全衛生協議会表彰 (新型コロナウイルス感染防止のため各賞代表による表彰式) 3 感謝状贈呈 豚熱防疫活動協力会員 10 社

(2) 理事会・常任理事会等開催事業

ア 理事会

開 催	開催日	場 所	出席状況	協 議 事 項
第7期 第4回 定時理事会	R4. 5. 16	日本赤十字社神奈川支部会議室	理事 20 名 監事 2 名	【協議事項】 1 業務執行状況報告等について 2 新規加入会員について 3 令和3年度事業報告・収支決算報告 4 令和4年度社員定時総会開催方法 ほか 【報告事項】 ・RCK バリュアアップ! PJ

第7期 第5回 定時理事会	R4. 6. 15	メルパルク横浜	理事 25 名 監事 1 名	【協議事項】 1 業務執行状況報告等について 2 新規加入会員について 【報告事項】 ・連合会からのマニフェスト譲渡価格の改定 ほか
第7期 第6回 定時理事会	R4. 9. 14	日本赤十字社神奈川県支部会議室	理事 22 名	【協議事項】 1 業務執行状況報告等について 2 新規加入会員について 【報告事項】 ・災害廃棄物支援協定締結の動向等 ・家畜伝染病発生時に係る対応 ・マニフェストの頒布価格
第7期 第7回 定時理事会	R4. 12. 14	波止場会館大会議室	理事 20 名	【協議事項】 1 業務執行状況報告等について 2 新規加入会員について 3 今後の事業開催について 【報告事項】 ・RCK バリュアアップ! PJ 中間報告 ・令和5年度県への予算等要望書の回答 ・特定家畜伝染病発生時における防疫業務
第7期 第8回 定時理事会	R5. 3. 24	横浜商工会議所特別会議室	理事 23 名 監事 2 名	【協議事項】 1 業務執行状況報告等について 2 新規加入会員について 3 令和5年度事業計画・予算について 4 協会表彰の受賞者及び全産連表彰の推薦について 5 バリュアアップ! プロジェクト2022年度活動結果報告及び2023年度活動方針について 6 令和6年度県への予算等要望書 ほか

イ 正副会長会議

開催日	場 所	出席状況	協 議 事 項
R4. 5. 11	協会会議室 web 会議	8 名	1 令和4年度定時社員総会開催方法について ほか
R4. 11. 29	協会会議室 web 会議	8 名	1 今後の事業開催について ほか
R5. 3. 9	協会会議室 web 会議	5 名	1 役員改選について 2 大塩正文さんの叙勲をお祝いする会について 3 資源循環推進懇話会について 4 令和5年度予算編成について ほか

ウ 新規加入会員交流会

開催日	場 所	出席状況	内 容
R4. 5. 16	日本赤十字社神奈川県支部会議室	正会員 2 社 賛助会員 2 社 理 事 20 名 監 事 2 名	1 新規会員からの企業紹介 2 意見交換 ほか
R4. 9. 14	日本赤十字社神奈川県支部会議室	賛助会員 2 社 理 事 29 名 監 事 2 名	1 新規会員からの企業紹介 2 意見交換 ほか

エ 県との資源循環推進懇話会・情報交換会

開催日	場 所	内 容	参加者
R5. 3. 24	横浜商工会議所特別会議室	県からの情報提供 ・高病原性鳥インフルエンザについて ・神奈川県循環型社会づくり計画の改定について ・プラごみ対策について	県幹部等 5 名 理 事 22 名 監 事 1 名 相談役 1 名

オ RCKバリューアップ!PJ (協会機能強化等検討のプロジェクト)

開催日	場 所	出席状況	協 議 事 項
R4. 4. 27	(株) グーンみなとオフィス	16 名	PJ 意義、進め方
R4. 5. 16	日本赤十字社神奈川県支部会議室	12 名	検討テーマアップ
R4. 6. 15	メルパルク横浜	12 名	検討テーマへの意見出し
R4. 8. 2	シルクセンター会議室	14 名	検討テーマへの意見出し、絞り込み
R4. 9. 14	日本赤十字社神奈川県支部会議室	11 名	テーマ別検討体制 (分会) 設定等
R4. 11. 30	シルクセンター会議室	11 名	検討シート作成方向性確認等
R4. 12. 14	シルクセンター会議室	10 名	分会リーダー決定、中間報告等
R5. 2. 1	シルクセンター会議室	11 名	検討シート提出
R5. 3. 17	協会会議室	6 名	提言の作成

2 組織の強化・拡大、加入促進

協会の組織強化・拡大のため、理事が中心となって業務上の関連がある未加入業者等に対し、協会への加入を促進しました。

(1) 会員入退会、名簿の作成・訂正事業

・令和4年度の会員の異動状況

区 分	会員数 (R5.3 末現在)	会員数 (R4.3 末現在)	異 動 状 況		会員数 増 減
			加入	退会	
正 会 員	474	479	3	8	△5
賛助会員	63	61	7	5	+2
合 計	537	540	10	13	△3

- ・会員名簿（2022.7.1 現在）作成 660 部
- ・会員名簿（2022.7.1 現在）会員専用サイト掲載、会員名簿訂正表随時更新
- ・協会ホームページ用 会員名簿 随時更新

(2) 会費収入管理事業

会員から納入された会費を管理しました。

3 事業報告等の提出及び公益法人変更登録等

令和4年度定時社員総会における令和3年度事業報告・収支決算報告の決議を受け、神奈川県へ事業報告の提出を行いました。

また、第7期第8回理事会における令和5年度事業計画・収支予算及び資金調達等の決議を受け、神奈川県へ提出しました。

4 事務局の運営

その他協会運営に必要な事務局の運営などを行いました。

(1) 調査回答事業（協会の管理に係るものに限る。）

全産連や他団体等からの調査照会に回答しました。

(2) 全産連総会等参加事業

全産連通常総会や関東地域協議会等に参加しました。

(3) 事務局管理運営事業

その他協会運営に必要な事務局の運営や理事会・各委員会の開催準備・記録作成、各委員会の行事の開催準備などを行いました。